

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和元年 8 月 27 日 (火)

### 2 確認箇所

固体廃棄物貯蔵庫第 6～8 棟

### 3 確認項目

固体廃棄物貯蔵庫第 6～8 棟における結露水発生防止対策の状況

### 4 確認結果の概要

固体廃棄物貯蔵庫には、放射性物質により汚染された土砂や鉄材等の固体廃棄物が容器に保管され貯蔵されている。

当該貯蔵庫では、保管されている容器に雨水等による結露水が発生し、容器の腐食等の原因となるため、東京電力はこれまで結露水発生防止策を行ってきた。

本日は、固体廃棄物貯蔵庫第 6～8 棟地下 2 階の結露水発生防止対策の状況を確認した。

- ・固体廃棄物貯蔵庫第 6～8 棟の通路には前回確認時 ([平成 30 年 9 月 19 日](#)) には設置されていなかった合計 6 台 (第 6 棟：4 台、第 7 棟：1 台、第 8 棟：1 台) のエアコンが新たに設置されており、結露水発生防止対策が取られていた。(写真 1)
- ・第 7 棟と第 8 棟の間には、天井部分に雨よけカバーが設置され雨漏れがドラム缶に導かれるようになっており、対策が取られていた。(写真 2)
- ・当該貯蔵庫の湿度は 43% であった。(写真 3)
- ・確認した範囲では、廃棄物の保管容器、壁面及び側溝等には結露水は見られず、保管容器の腐食も見られなかった。(写真 4)

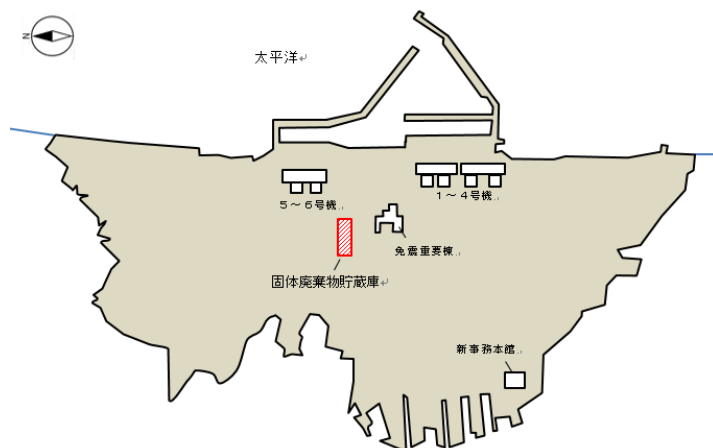
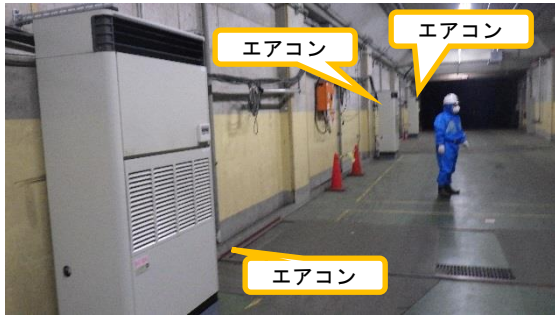


図 1 固体廃棄物貯蔵庫概略図



(写真1-1)  
第6棟入り口から撮影  
3台のエアコンが確認できる



(写真1-2)  
凝縮水がエアコンから排水されている  
(赤丸部分)



(写真2-1)  
天井部分の亀裂からの雨水流入対策のため、雨よけカバーを設置し(写真2-2)の雨漏れ受けドラム缶に雨水を貯蔵するようになっている



(写真2-2)



(写真2-3)

写真2-1のドラム缶で雨漏れを受け、ホースで7本のドラム缶に分配して貯蔵される



(写真3)



(写真4-1)

廃棄物の保管状況の一例  
結露水は見られなかった



(写真4-2)

廃棄物貯蔵庫内の側溝の一例  
結露水は見られなかった

## 5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。